

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 1日

事業所名 スタジオそら鷺沼

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	8	0	個室があるので、個別療育の場所を確保できている。	引き続き、支援の充実を図る
	②	職員の配置数は適切であるか	7	1	準備、療育、記録を毎日適切に行える人員を配置している。	人員を適切に配置し、全職員が休憩時間を十分にとれるようにする。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	生活空間はシンプルで分かりやすい構造化になっている。特性に応じ、なるべく刺激が少ない空間で支援を行えるように配慮している。	エアコンのスイッチが1つのため、各部屋の温度環境を整えるのが困難。(現在ひざ掛けや、サーキュレーター等を導入している)
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	7	1	感染予防にも配慮している。エアコンフィルターの清掃を月1回行っている。毎日の清掃や週1回の大掃除を行っている。	カビ、汚水の臭いが気になることがある為、本社に相談し対応を検討する。
適切な支援の内容	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	8	0	職員全員でミーティングを行い、目標の設定と振り返りを共有している。	引き続き、支援の充実を図る
	⑥	保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	8	0	保護者アンケートの結果に基づき、業務の改善を行っている。	引き続き、支援の充実を図る
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	保護者が常時確認できるよう待合室に掲示している。	引き続き、支援の充実を図る
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8	監査は未実施。	第三者評価実施に関しては、今後の課題とする。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2	複数の職員で療育の評価を行い、支援の質の向上に努めている。	ペアレントトレーニングの講習、職員の勉強会を実施する。研修の機会を確保し、積極的に参加する。
業務改善	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	スタッフ全員で子どもの課題を分析し、保護者のニーズのヒアリングを行った上で作成している。	引き続き、支援の充実を図る
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	共通のアセスメントツールを使用している。	来年度改善予定。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	子どもや家族の状況を可能な範囲で把握し、自立へ向けた課題設定が出来るように、優先順位を設けて設定している。	引き続き、支援の充実を図る
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	計画に基づき、子どもが楽しめるように支援を行っている。スモールステップで取り組むことが出来るように工夫している。	引き続き、支援の充実を図る
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	ミーティングを行い、課題を共有して活動プログラムを立案している。	引き続き、支援の充実を図る
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	前回の記録を確認し、子どもが飽きないようにプログラムを作成している。	引き続き、支援の充実を図る
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	保護者のニーズと発達段階を踏まえて作成している。お楽しみ療育や小集団活動を組み合わせる支援を行っている。	引き続き、支援の充実を図る

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 1日

事業所名 スタジオそら鷺沼

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	全職員で朝礼を行い、支援内容の打ち合わせ、確認をしている。	引き続き、支援の充実を図る
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	全職員で終礼を行っている。当日の支援の振り返りを行い、どの職員でも同じ対応ができるように情報共有を徹底している。また、業務日誌に記録を残している。	引き続き、支援の充実を図る
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	療育当日に必ず記録をとり、支援の振り返りと改善に繋げている。	引き続き、支援の充実を図る
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	定期的モニタリングを行い、支援内容の見直しを行っている。	引き続き、支援の充実を図る
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	4	現時点で担当者会議は行われていない。モニタリングでのやり取りはある。	今後、実施された際にはサービス担当者会議への参加を検討する。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	6		今後、関係機関との連携を検討する。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	7		重症心身障害のお子さんの受け入れはしていないため、回答できず。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	6		重症心身障害のお子さんの受け入れはしていないため、回答できず。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	4	保護者の希望に応じて幼稚園訪問等を行っている。	今後も保育所や幼稚園等と情報共有を行っていく。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	5	保護者の希望に応じて情報共有している。	今後も小学校や特別支援学校との情報共有を行っていく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	6	専門機関の研修に参加している。	療育センターの施設見学を検討している。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	8		保護者のニーズも低い為、今後検討する。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	8		地域の子育て会議等への参加を検討する。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	毎回保護者にフィードバックを行い、療育の内容について説明している。保護者からのヒアリングも大切にしている。	引き続き、支援の充実を図る
	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	7	困りごとに応じて、保護者が行える支援について情報提供を行っている。	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)の導入を検討したい。職員の勉強会等を行う必要あり。
	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時や変更時に説明を行っている。	引き続き、支援の充実を図る
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	支援計画作成後に保護者に説明し同意を得ている。	引き続き、支援の充実を図る
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	希望があった時や、気になる様子が見られた時には面談を行っている。	引き続き、支援の充実を図る

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 1日

事業所名 スタジオそら鷺沼

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8	イベントとして、親子での英語リトミックを月に一度開催している	保護者交流会などのイベント開催を検討する。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	保護者との面談の時間をとり、個別対応を行っている。日頃から保護者と積極的にコミュニケーションをとり、サインを見逃さないようにしている。	引き続き、支援の充実を図る
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2	イベント等の行事開催予定をメール、掲示等で保護者に対して発信している。	引き続き、支援の充実を図る
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	書庫に施錠し、厳重に管理を行っている。	引き続き、支援の充実を図る
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	障害に応じて意思疎通や情報伝達を工夫している。	引き続き、支援の充実を図る
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7		地域との連携を強める活動を検討していく。
非常時の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	職員にはマニュアル配布、研修により周知を行っている。保護者に対してはマニュアル等の書類を掲示し、周知を行っている。	引き続き、支援の充実を図る
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	定期的に避難訓練を行っている。	引き続き、支援の充実を図る
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	2	6	契約時の書類記入、ヒアリングにより服薬、診断名を保護者に確認している。	予防接種、てんかん発作についても詳細を確認する。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4	契約時に書類記入、ヒアリングによりアレルギーについて保護者に確認している。	医師による診断内容を詳しくヒアリングし、情報共有を行う。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	ミーティング、業務日誌でヒヤリハットの情報共有を行い、再発防止を目指している。	引き続き、支援の充実を図る
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	不定期で研修実施。個別の児童についての留意点もミーティングで情報共有を行っている。	定期的に研修の機会を確保する。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	4	契約時に説明をしている。身体拘束を行った際には記録に残すこととしている。	引き続き、支援の充実を図る

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。